

# パーマン PA-MAN ベルト荷締機 取扱説明書

## 1.注意事項

**⚠ 危険** (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う事になるもの。)

- ①使用前に本商品を点検し、**巻取ドラム、その他金属部分の摩耗**、ベルト及び縫製部に傷、破断、ほつれがある場合は、絶対に使用しないで下さい。又、水や油が付着している場合は、拭き取って下さい。
- ②ベルトを結んだり、ねじれた状態で使用しないで下さい。事故につながり、大変危険です。

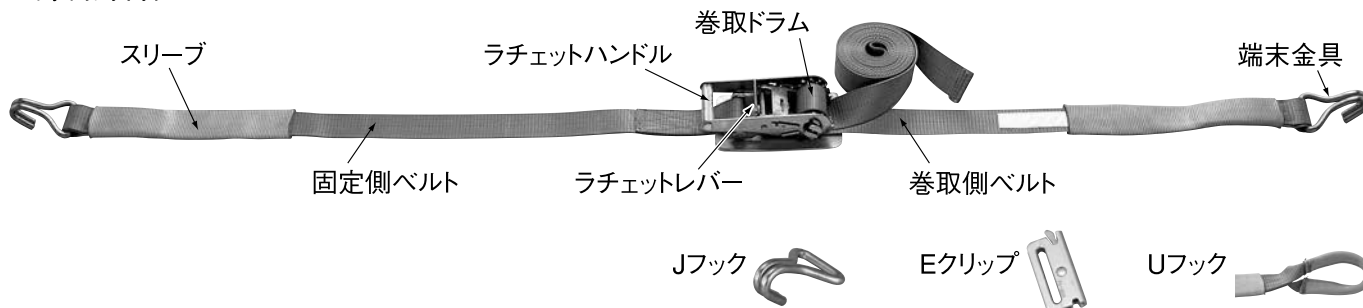
**⚠ 警告** (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。)

- ①カタログ、ベルトのタグに記載された使用荷重以上では、絶対に使用しないで下さい。
- ②タグに記載された使用荷重を越える場合は、使用する本数を増やして下さい。
- ③ナイロンスリングの球掛け作業として、使用しないで下さい。ベルトが破断する原因になります。
- ④酸性の強い場所では使用しないで下さい。ベルトが破断する恐れがあります。
- ⑤**角張ったコーナーには、必ずベルトコーナープロテクター又は、Lコーナーを使用して下さい。**ベルトが破断する原因になります。

**⚠ 注意** (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本商品は、180℃以下で使用して下さい。
- ②巻取ドラムに巻取側ベルトを、巻き過ぎない様にして下さい(目安として、2~3周巻き取って下さい)。巻き取り過ぎると、ラチェットハンドルが動かなくなり、故障の原因になります。
- ③本商品を、人間一人の手引き力以上の力では、操作しないで下さい。
- ④端末金具とベルトの引張り方向は、直線になる様にして下さい。
- ⑤走行中の振動により、荷物のおさまりが変わり、荷締めが緩む事があるので、必ず**追締めをする**様にして下さい。
- ⑥荷締めをした荷を緩める時は、荷崩れや、荷の落下等が無いか注意しながら行って下さい。
- ⑦本機は多様な荷物の荷締め、結束作業をする為の機器です。その他の用途には、使用しないで下さい。
- ⑧他社製の取付レールをご使用で、Eクリップの取り付けが出来ない場合、無理に使用しないで下さい。

## 2.部品名称



## 3.使用方法

### ●締め方

- ①端末金具(Jフック)を、指定の位置にかけて下さい(図1参照)。Eクリップの場合は、図2の様にEクリップの金具を真っ直ぐにして、人差し指で中央のピンを手前に引きながら取り付けレールの穴上端に差し込み、Eクリップ下部が取り付けレール穴下端に接触するまで押し下げて下さい。その位置で人差し指を離すと、取り付ける事が出来ます。取り外しは、上記手順と逆です。
- ②固定側ベルトの長さが調整可能な商品は、バックル部を利用して適当な長さに調整して下さい。
- ③巻取側ベルトを巻取部(巻取ドラムの隙間)に通し(初めから通してある商品はそのまま)、図3の様に矢印のA方向に引いて、ベルトの緩みを取って下さい。その後ラチェットハンドルを、矢印のBの方向に上下(前後)させて、ベルトを巻き取って下さい。
- ④ベルトの巻き上げ完了後、ラチェットハンドルを図3の状態になるまで、完全に倒して下さい。

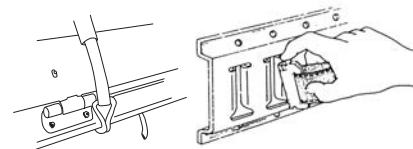


図 1

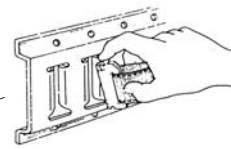


図 2

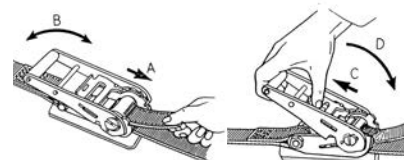


図 3

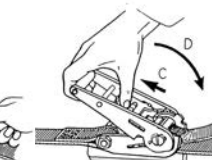


図 4

### ●緩め方

- ①ラチェットレバーを、矢印のC方向に引き上げながら、矢印のD方向にラチェットハンドルを180°回転させると、ベルトが緩みます。後は、巻取側ベルトを巻取部から引き出して下さい。